

平成31年2月19日

2019-2月（国内種雄牛）トピックス

（独）家畜改良センター
改良部情報分析課

1. 体型形質と繁殖形質の遺伝的能力評価モデルが変更されています。

2018-12月の国内評価（雌牛）において実施した体型形質と繁殖形質の遺伝的能力評価モデルの変更が、種雄牛においても適応されました。詳しくは、「ホルスタイン種の2018-12月評価に係る変更点」をご覧ください。

2. 新規種雄牛

今回、7頭の新規種雄牛が総合指数上位40位以内にランキングされています。

総合指数順位	略号	名号	総合指数	産乳成分*	耐久性成分*	疾病繁殖成分*	父
5	JP3H56864	ドリミー クッキー モンスター ハンター ET	+2,762	+2,858	-60	-36	クッキーカツター モム ハンター ET
19	JP4H56581	トブゾーン KTCSO エピロツタ ET	+2,296	+1,802	+404	+90	ジエネベーションス エピツク ET
21	JP3H56573	YKT テツチエ ハママン	+2,225	+1,982	+276	-33	ピユートワ ハママス ET
22	JP5H56793	モーサン ミスター グランデール ザウルス	+2,181	+1,724	+453	+4	レディスマナー PL シヤムロツク ET
23	JP3H56899	エンドリツチ フラツク スーパーレオ ET	+2,180	+2,151	+102	-73	シーガルベイスーパーサイア ET
28	JP0H56882	YKT デロリアン クラマー	+2,068	+1,680	+245	+143	ユープ ホースサイド マツセイ ET
32	JP5H56854	テイエフフェイス フォワード	+2,024	+1,326	+488	+210	ジエネベツク ブラウラー ET

※各成分は重み付け後の数値（産乳成分の重み:7.0、耐久性成分の重み:1.8、疾病繁殖成分の重み:1.2）。

3. 供用中種雄牛の動き

前回（2018-8月）と比べ、ランキングが大きく変動した種雄牛※は次のとおりです。

- ・ JP5H56250【クロケット エーカース M エクザイル】 総合指数44位（前回同18位）
泌乳形質において2産記録が増加したことにより、評価値が変動したと考えられます。

* 「供用中種雄牛の動き」記載条件は、現在供用中の種雄牛であり、前回上位41位以下から今回上位20位以内に順位が上がった種雄牛、または前回上位20位以内から今回上位41位以下まで順位を落とした種雄牛。